

よこはま国際協力チャリティオークション・ハマオク
第1回「よこはま国際協力賞」受賞団体

ハビタット MGU 団体活動実績報告書

● Global Village Program (以下、GV)

ハビタット MGU は 2002 年の設立以来、海外住居建築プログラム、通称 GV を主軸として活動をしてきた。今までにインド・バングラデシュ・タイ・モンゴル・キルギス・インドネシア・フィジー・ルーマニア・フィリピンで活動を行ってきた。以下、ここ3年間の GV 活動実績である。

	訪問国	派遣人数	総事業費
2006 年度	インド、フィジー、タイ	計 46 名	6,900,000
2007 年度	フィリピン、バングラデシュ、キルギス共和国	計 42 名	6,300,000
2008 年度	タイ、インドネシア、ルーマニア	計 44 名	6,600,000
3 年間合計	8 カ国	計 <u>132 名</u>	<u>19,800,000</u>

3年間だけでも、**132名**の学生を8カ国へ派遣し、また総事業費は**19,800,000円**に上る。毎年コンスタントにこれだけの人数とお金を動かし、現地の**100名以上**の方の家の建築に携わってきた実績がある。



2006 年度 夏のタイ GV

2007 年度 春のインド GV



● Philippines Partnership Project (以下、PPP)

2007年10月、このPPPの企画が持ち上がった。以後、一年以上をかけて2009年2月、正式にPPPは新しく始動した。GVとは別プログラムの、長期・継続型自立支援プログラムである。以下、2007年10月から2009年2月までの活動実績である。

現地訪問実績		目的	事業費
第一回	2008年6月	支援先の村の検討、現地NGO訪問	480,000
第二回	2008年8月	支援先の村の検討、決定(SNKI Agape村)	360,000
第三回	2009年2月	村との契約書を交わす 具体的支援策スタート	600,000
合計			1,440,000

一年間という期間の中で3度の現地訪問を行い、その訪問で計1,440,000円の事業費を動かしてきた。PPPでは、フィリピン・ノースカロカン州にあるSNKI Agape村を支援先とし、村の自立支援を促す支援を行っていく。2009年2月からは、SNKIのお母さんを対象とした「クロスステッチプログラム」を始動させた。彼女達の作るクロスステッチ商品を、日本を中心に販売し、収益を還元することで彼女達の自立を促す。そのためのノウハウを習得するため他NGOにアドバイスをもらったり、商品市場の開拓のためマーケティング調査等を行っている。また現地訪問の際には、交流も兼ねてイベントを開催している。



村の子供たちに行った啓発イベントの様子

